

児童の資質・能力を育成する 単元を見通した授業づくり

I. 研究テーマ設定

資質・能力の育成

1時間の授業のみでは難しい。

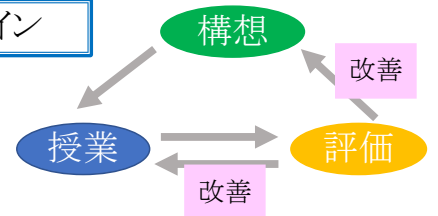


単元全体で育成する！！

II. 研究仮説

授業を単元全体でデザイン

- ・ 単元案の作成
- ・ P D C A サイクル
- ・ 思・判・表を働かせる場面の設定



III. 研究の実際と考察

第1期（1学期～2学期前半）

◎単元全体で児童が思考・判断・表現する場面を設定

<手順>	<子どもの姿>	<自分自身>
<p>体験的な活動 触れる、感じる、気付く。</p> <p>↓</p> <p>考える、表現する活動 感じたことを言葉で表現。 自分で考える、確かめる。</p> <p>↓</p> <p>まとめる 知識としてまとめる。 確認テスト。</p>	<p>研究当初</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 突発的に言葉を発する。 ・ 友達や教師の言葉の反復。 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「何が分からない」かに気付く。 ・ 「知る」、「分かる」ために自分から確かめたり、考えたりする姿。 <p>自分で考える難しさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の道筋 →目標達成のための学習活動や発問を意図的に、一貫性をもって組み立てられた。 ・ 授業改善 →目標と今の子どもの姿を照らし合わせて、次に必要な手立てを考える。 ・ 子どもの思考する姿を待てるようになった。 →答えを先に言わない。



疑問

評価では、「できた。」だけ。。。
本当に子どもたちの資質・能力を
育成できたのか？

学習指導要領
によると

資質・能力の育成

→主体的・対話的で**深い学び**の実現



各教科等の特質に応じた**見方・考え方**を働かせる必要性

